

統計とともに



平成17年
統計研修所統計図書
館運営企画係
平成19年
統計局総務課施設係
平成21年
人事・恩給局経理室
予宣係・給与係
平成23年
(現職)



総務課
松藤 匡史
Matsufuji Tadashi

平成17年採用
支出負担行為係



◆総務省統計局に決めた理由は？

『自分に合った仕事』

「人の役に立つ仕事がしたい」と、公務員を志望しました。その中で、なぜ統計業務を選んだかという、説明会で、「統計」を作成する作業（その際聞いた話は入力事務）にとっても魅力を感じました。こつこつとした作業も好きで、「自分に向いている」と直感で思ったことがきっかけです。その後、官庁訪問で職員の方にとても優しく、快く受け入れていただき、ここしかない決めました。

◆現在の仕事と今までに担当した仕事は？

『さまざまな仕事ができる職場』

現在、「個人企業経済調査」という調査を担当しています。しかし、採用されてからずっと同じ調査を担当しているわけではありません。「家計調査」の入力担当を2年、「国勢調査」の公表担当を2年、そして今に至っています。異動の度に違う調査を担当し、勉強の毎日ですが、色々な調査の内容や特徴を知ることができ、毎日楽しく仕事をしています。

◆仕事の魅力とやりがい？

『見えない可能性が発揮できる職場』

「家計調査」を担当している際、テレビ番組で統計の入力事務について取り上げられ、実際に出演する機会もありました。また、「国勢調査」を担当している際は、県の担当者、全国の世帯の方、企業など様々な方から質問を受け、難しい内容に丁寧に回答をした際に、「本当にありがとうございます。助かりました。」と言っていた時にとてもやりがいを感じました。

◆みなさんへメッセージ！

『日本の統計を支える一員になりましょう』

一口に「統計」と言っても、単純な仕事ではありません。組織が成り立つように支えている職員がたくさんいます。みなさんも日本の統計を支える一員になりましょう。やりがいのある仕事をして、自身の可能性を見だして、目指そうスタティスティシャン！

◆総務省統計局に決めた理由は？

『出会い..』

私が官庁訪問で統計局を訪れたとき、2005年国勢調査を1年後に控えていたのですが、私はそれがどのような調査なのか、ほとんどわからない状態でした。しかし、業務説明で「統計」の重要性を知り、自分もここで働いてみたいと思いました。

◆現在の仕事と今までに担当した仕事は？

『かれこれ10年..』

採用されてから10年目になりますが、これまで統計図書館の運営・企画担当や庁舎の施設整備、他部局では予算や給与に関する業務を担当し、人事異動の度に全く異なる業務を担当してきました。現在は、契約業務を担当しており、各統計調査を実施するにあたり必要となる用品の調達やシステム開発に係る業務など様々な契約業務を行っています。

◆仕事の魅力とやりがい？

『肌で感じて..』

私たちの職場は、職員同士の距離も近く、公私共に関係を築きやすい環境だと思います。周りの方たちとコミュニケーションを取りながら仕事を進めていくことにやりがいを感じています。また、統計調査の結果はテレビや新聞等でとりあげられることが多々あるので、自分がやっていることが肌で感じられる点も仕事の魅力の一つだと思います。

◆みなさんへメッセージ！

『どんな人も..』

私は現在まで統計業務に直接携わる部署にはまだ配属されたことがありませんが、どの部署にいても同じ目的に向かって日常の業務を行っています。

統計に興味がある方はもちろんのこと、私のように今まで統計についてほとんど知らなかったという方も是非、足を運んでみてください。

多様な業務、楽しい統計



平成22年
(独)統計センター
製表グループ
平成24年
統計局国勢統計
課審査発表係
平成26年
(現職)



経済基本構造統計課

辻 有紗

Tsuji Arisa

平成22年採用
個人企業調査係

